

北海道新聞 自治体PR・地方創生関連ご案内

«みなみ北海道・北東北 食旅フェスタ in 仙台»

仙台でのプロモーションと紙面での展開

北海道新聞函館支社営業部が事務局を務める「みなみ北海道・北東北 食旅フェスタ in 仙台」は、**北海道新幹線開業効果の継続を目的に企画・実施したもの**です。主な特徴は、道南エリアに加えて**北東北の自治体が実行委員会へ参画し、津軽海峡を挟んだ広域連携によるプロモーション事業である点**、そして、**仙台駅での自治体によるサンプリングPRや旅行会社と参加自治体による旅行商談会を同時開催するなど、一つの事業でBtoB、BtoCの両面を訴求ターゲットにすることができた点**です。

- ◆北海道新聞×河北新報
広告特集
(2017年11月17日に仙台市内を中心に約10万部を折込。ほか、会場配布約1万部。タブロイド判16P)



- ◆多くの来場者で賑わう「みなみ北海道・北東北 食旅フェスタ in 仙台」の様子



◆旅行商談会の様子



◆お問い合わせ／北海道新聞社営業局（TEL011-210-5713）または各支社営業部へ（2018.3）

*ウェブサイトにバックナンバー掲載中！【道新 営業局】で検索！ (<http://adv.hokkaido-np.co.jp/>)

「食旅フェスタ」（2017年11月18～19日に仙台で開催）は、参加自治体（函館市、北斗市、木古内町、江差町、せたな町、北海道新幹線 × nittan地域戦略会議、八戸市、弘前市、今別町、大館市、仙北市、小坂町）から飲食店など**42ブースが出演**。北海道新聞朝夕刊のほか、河北新報（タブロイド判16P）、河北ウィークリー、ウィークエンド東北（NHK仙台放送局）で広報展開を行い、仙台駅でのサンプリングも行いました。

イベント本番の2日間は、仙台市内で初雪を観測するほどの冷え込みでしたが、ブースの飲食や物販、観光PRにおいて目標数字に結びついた出店者もあり、特に仙台市内でのこのような主旨のイベントへ初参加した自治体や出店者からは好感触の声が寄せられました。

また、**旅行商談会**では、東北が持つ広域圏における観光資源を再認識してもらい、旅行商品の造成につなげてもらうことを主な目的として、地元**東北旅行会社・メディア関係者11社、自治体は函館市、北斗市、八戸市など11団体**が参加し行されました。

旅行会社からは「各地の最新情報を聞いて、広域観光ツアー造成の参考になった」など前向きな声が寄せられたほか、自治体からも「効率よく自分たちの魅力・観光資源をPRできた」など好評でした。ツアー造成をする上での良いきっかけ作りを提供できたと実感しています。

（函館支社営業部 松久貴紀）